

よみがえれ！  
有明訴訟弁護団  
(後藤富和)発行  
092-512-1636  
090-9602-0700

# 開門望む長崎県民の声ぞくぞく

## 潮受け堤防と 大水害無関係

【長崎新聞「みんなの広場」12月23日・無職・男・73歳・長崎市】  
諫早湾干拓の潮受け堤防は52年前の大水害レベルにも防災役割を果たすのが論旨のようだ。当時、諫早市永昌に住み、四面橋付近で災害救助と復旧作業を体験した者としてこの水害の実相を振り返ってみたい。諫早市発行「諫早水害誌」にも示されているように、この水害は同市と本明川上流に降り続いた600ミリを越す大雨で「急激に発生した山津波の激しさ」(同誌)により上流域が、また「あまりにも急激な増水による濁流」(同誌)により、中流域が破壊力を強めた濁流となり上流域から倒木、倒壊家屋、橋などを根こそぎ巻き込み、市街地にいたり、四面橋、眼鏡橋などの橋脚に引っ掛かり流れをせき止めた。このため奔流は橋の兩岸の堤防を破壊して大はんらんを起し、流域の家を一瞬のうちに流失させた。これはまさに河川水害そのものであり、本明川河口から数キロ沖の潮受け堤防との関連はない。水害犠牲者は同誌によると、本明川上流域の四十数人、天満、永昌寺の中流域300余人

人など潮受け堤防とは無関係地域に集中している、

## 混乱する諫干 農水省に原因

【長崎新聞「みんなの広場」12月23日・カトリック司祭・男・68・兵庫県西宮市(五島市出身)】  
諫早湾干拓問題は民主党政権になってからも相変わらずもめている。佐賀地裁が排水門を開けて調査すべし、と勧告したもの農林水産省はそれに従おうとしない。最近、諫早市では、排水門開門調査絶対反対、と叫ぶ大集会が開かれた。それに真つ向から反対し、開門調査実施を唱える市民グループは署名活動と呼び掛けた。東京・霞が関の農水省前では、諫早湾干拓に反対する有明海漁民の有志たちが「開門調査せよ」と座り込みの抗議活動をした。有明海で漁をしている人たちの願いはただ一つ。「魚の取れる元の海に戻してくれ」である。このまま有明海の状態が続けば、漁業は成り立たない、と訴えている。年々、魚の水揚げは減り、もう限界だというのがほとんどの漁民の胸の内だ。そもそも農水省は干拓事業を始める前に有明海漁民との間に約束していたはずだ。もし著しい影響を与えた場合、双方で協議すると。し

かし諫早湾閉め切り後、農水省は一度たりとも正式に漁民との協議をしていない。諫干問題の原因が農水省にあることを忘れてはならない。

## 諫干の調整池 汚濁浄化急げ

【長崎新聞「みんなの広場」10月・無職・男・79・諫早市】  
諫早湾干拓事業はすでに672ヘクタールの農地が完成し大規模営農が開始されている。一方では漁業資源の回復を訴える漁業者たちの抗議行動と調整池の汚濁化に対する問題が今なおくすぶり続けている。潮受け堤防によって閉め切られた調整池の水は、富栄養化し、泥粒子で濁り、緑色の気持悪い状態である。最近にいたっては、今日、問題視されているアオコの大発生が憂慮されている。ある学説によれば、有機物の多い富栄養化した池などに発生する藻類の植物プランクトンによって池の下層では酸素を欠乏させ、魚類や底生生物の生息に対して害悪を与え、さらにこの藻類は強い毒素を持っていて人の体内に入ると神経毒や肝臓毒として作用する危険が高いという。この学説を信用すればアオコが発生している調整池から干拓農地に水を引いている現状を考えれば農作物に二次災害を受けダメージになりかねない。早急に調整池の汚濁を浄化する必要がある。そのためには閉め切りを開

門して潮流を取り入れ自然環境の再生を図ることが求められよう。漁業と農業が共生できる唯一の解決対策だ。ちなみに農業用水は本明川や他の淡水を引けばよい。

## 「みんなの広場」を許していいのか 長崎県「諫早湾干拓」都内で大宣伝

【日刊ゲンダイ12月22日】これこそ「事業仕分け」の対象にするべきだ。長崎県がきのう東京都内で「諫早湾干拓地における防災と環境保全型農業の展開」と題したフォーラムを開いた。要するに諫早湾干拓事業は「サイコー」というPR企画だ。今ごろなぜ都内で宣伝しているのか。「フォーラムは二千万円かけて行われたが、地元県議、市議の出席がやたらと目立ち、反対意見を警戒しているのか質疑応答は一切ナシでした。費用は『国の交付金』です」(出席者)2500億円もつぎ込んだ諫早湾干拓事業と言えば水門が連続して落ちていく「ギロチン」映像を思い出す人が多いだろう。有明海の諫早湾が干上がりムツゴロウなど自然生物の天国を奪った「愚策」の代表格だ。ルポライターの永尾俊彦氏はこう言う。「政権交代による見直し案浮上に危機感を覚えているのです。世界的にも稀有な干潟をつぶし、『環境保全』とは倒錯している。国費で宣伝するなんて愚に愚を重ねている」国民をナメているとしか思えない。